

# かみね 議会だより

184号

## ●平成29年 第4回定例会(12月)

P2~7 こんなことが決まりました

P8~15 そこが聞きたい(一般質問)

P16~18 中学校子ども議会

P19 議会活動(視察研修報告)



第68回 上峰町成人式

平成29年12月  
第4回定例会で

29年度一般会計  
補正予算可決

こんな  
ことが

# 決まりました

16議案、可決。

平成29年第4回定例会は12月8日に開会し12月15日までの8日間の会期で開催され、平成29年度補正予算等、上程された16議案全て原案通り可決されました。

平成29年度一般会計補正予算  
専決第1号

専決処分の承認について

衆議院議員選挙費

877万3千円

平成29年10月22日施行された第48回衆議院議員選挙費用を専決したものの。

賛成  
全員



開票所風景（社会体育館）

平成29年度農業集落排水特別会計補正予算  
専決第1号

専決処分の承認について

下水道管移設工事費

357万円

佐賀県発注の加茂交差点付近の改良工事に伴い、支障となる本町の下水管移設工事費に不足が生じ増額をするもの。

賛成  
全員



加茂交差点付近

権利の  
放棄に  
ついて

全員賛成

学校給食費（平成

4年度から平成18年

度分）に係る債権

放棄する債権額

183万2千4百円

放棄の理由

当該債権の消滅時効における2年の時効期間の経過後、さらに9年から23年経過している債権について、裁判手続きによる執行の方法を利用することが事実上できず、収納が困難であること。

## 平成29年度 一般会計補正予算から

### コミュニティバス等購入費

600万円

町内巡回バスが今までより、せまい道路も巡回できるように改造等にあてるもの。

### チャレンジ企業支援業務委託料

500万円

町内での起業、新たな取り組みを支援するもの。

### 狩猟免許取得等補助

60万円

免許取得後、猟友会に5年以上所属すること等を条件として補助するもの。

### 子どもの医療費助成

840万円

現物給付によるもの。

### 町史編さん業務委託

38万円

今回新たに町史編さんにむけて、2020年に完成予定で取り組むもの。

### 中学校排水設備設置工事

108万円

中学校テニスコート周辺の排水改善のため。

# 平成28年度 一般会計・特別会計 決算を認定

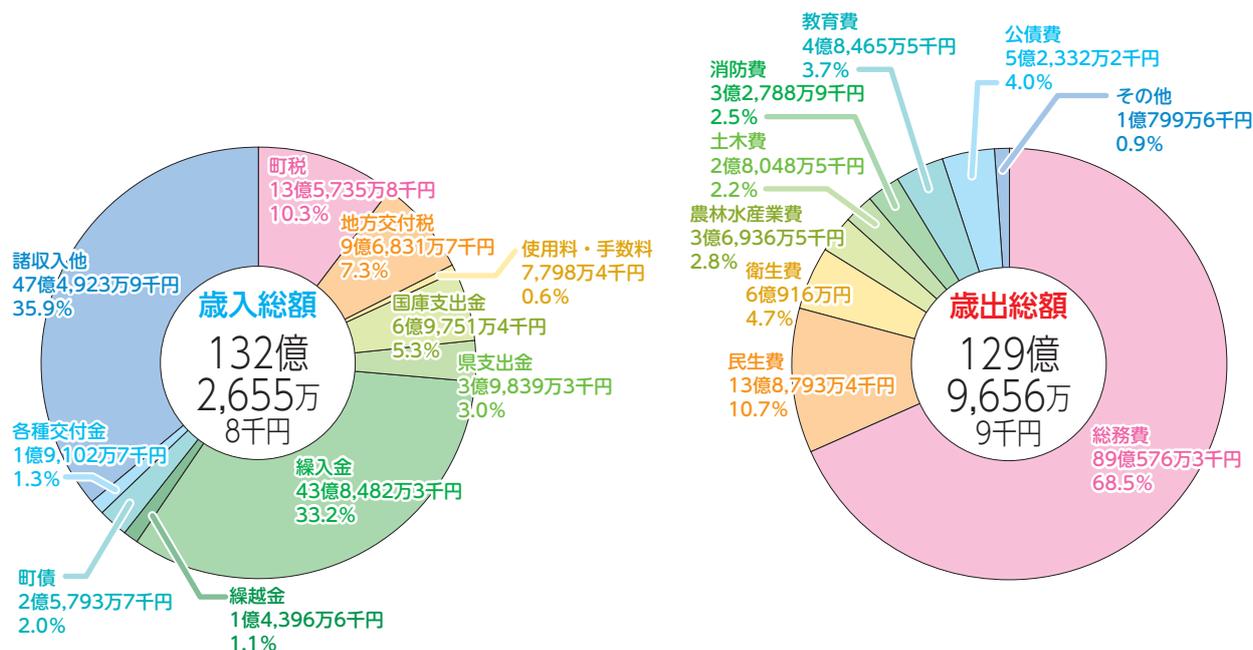
決算特別委員会委員長 原田 希

平成29年9月13日の本会議において、本委員会に付託された平成28年度上峰町一般会計歳入歳出決算及び各種特別会計歳入歳出決算について、去る9月25日、26日、29日の3日間にわたり厳正なる審査を行い、監査委員の意見及び執行部の内容説明を聞き、慎重な審査の結果、適正であることを認め全員賛成をもって認定すべきものと決定しました。

(千円未満を四捨五入しているため、総額と一致しない場合があります)

決  
算

**一般会計** 歳入総額132億2,655万8千円：歳出総額129億9,656万9千円：差引額2億2,998万9千円



## 特別会計

特別会計名称	歳入総額	歳出総額	差引額
国民健康保険	11億5,552万3千円	10億5,513万8千円	1億38万5千円
後期高齢者医療	9,550万2千円	9,458万2千円	92万円
土地取得	167万6千円	0千円	167万6千円
農業集落排水	5億3,794万5千円	5億3,321万3千円	473万2千円

## 主な財政指標

	指標の説明	H28年度	H27年度
財政力指数	町の財政力を表す指数。1に近い団体ほど自主財源の割合が高く、財政に余裕があるとされる。	0.61%	0.61%
経常収支比率	町の財政の弾力性を表す指標。数値が低い団体ほど自由に使える財源が多いとされる。8.4%上昇している主な要因としては、法人住民税及び地方交付税の減収がある。	98.1%	89.7%
実質公債費比率	町の借金返済額が標準財政規模に占める割合を表す指標。18%を超えると起債発行の際に許可が必要となり、25%を超えると起債発行に制限がかかる。	14.4%	15.4%
将来負担比率	現時点で、町が将来負担すべき債務が標準財政規模の何倍あるかを表す指標。	-	-

# 平成29年度 **補**正予算

5億9,468万9千円増額して、総額123億1,610万円となる。

## 一般会計

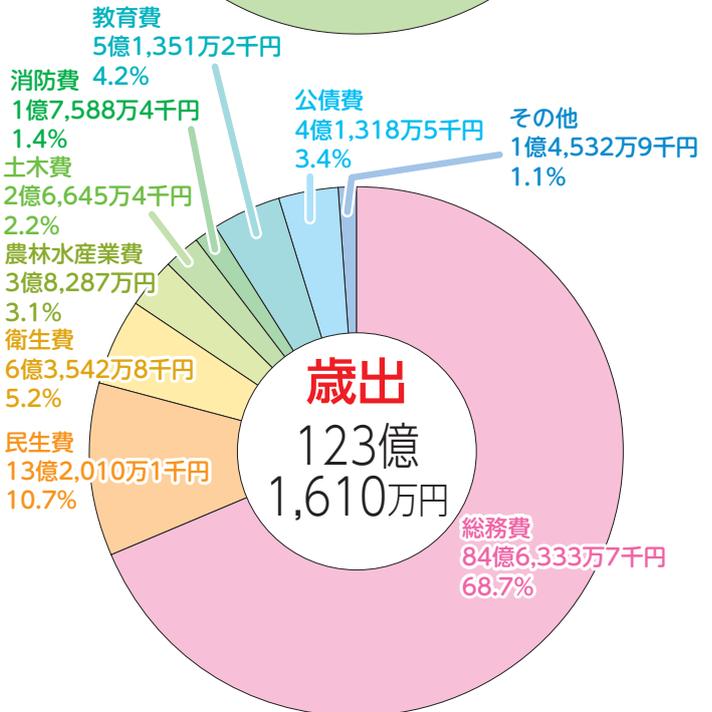
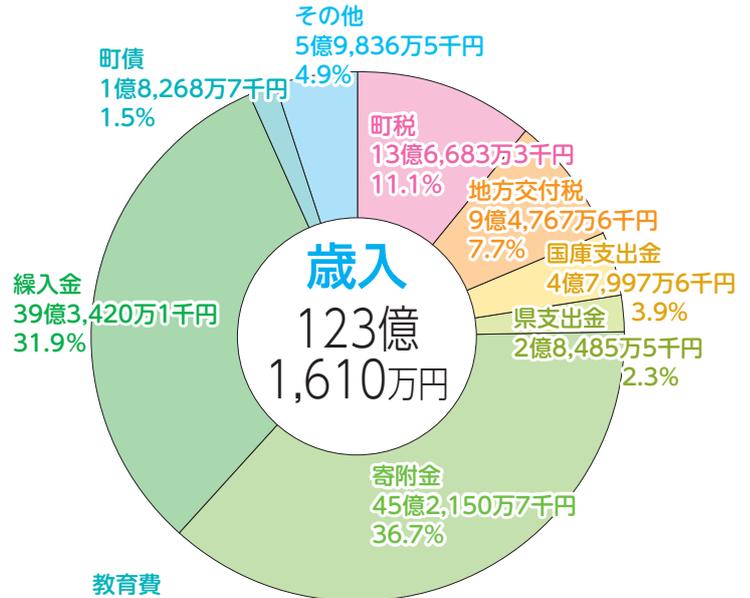
### 歳入補正予算の主なもの(増額のみ)

◎ふるさと納税寄附金	5億円
◎ふるさと寄附金基金繰入金	6,314万円
◎財政調整基金繰入金	243万3千円
◎前年度介護保険負担金精算金	718万5千円
◎前年度後期高齢者医療広域連合療養給付費負担金精算返還金	1,199万円

### 歳出補正予算の主なもの(増額のみ)

◎基幹系システム改修委託料	826万円
◎チャレンジ企業支援業務委託料	500万円
◎クレジット決済手数料(ふるさと納税)	740万円
◎ふるさと納税業務委託料	1,790万円
◎ふるさと納税ポータルサイト利用料	3,284万円
◎基金積立金	
・ふるさと寄附金基金	5億円
◎コミュニティバス等購入費	600万円
◎子どもの医療費助成	840万円

## 本会期までの累計



※町債とは借入金、公債費とは借入金の返済金です。  
※国・県支出金は補助金です。

## 特別会計

### 国民健康保険特別会計

2万5千円を増額し、11億9,331万1千円となる

### 農業集落排水特別会計

360万円を増額し、5億5,212万6千円となる

# 道路整備に必要な予算確保に関する意見書

賛成  
全員

議案  
審議

国に対し  
意見書を提出

道路は、活力ある自立した地域社会の形成や産業の振興、経済活動の拡大を図るとともに、通勤通学などの日常生活を支える最も基礎的な社会資本であり、地域間の交流・連携を促進し、真に豊かで安心して暮らせる地域社会を実現するには、その着実な整備が必要不可欠である。

また近年、熊本地震や九州北部豪雨などの大規模な自然災害が発生しており、その際、道路は、緊急車両や救援物資を輸送する大動脈として大きな役割を發揮するなど、まさに「命の道」として必要不可欠なものと再認識しているところである。

本町における道路は、生活用及び産業用として多くの人々に利用されている必要不可欠な社会基盤であり、通学路の安全対策や道路施設の老朽化対策など、道路環境の整備にも取り組んでいく必要があり、今後、計画的かつ着実な道路整備を進めるには、予算の確保及び拡充は不可欠である。

このような中、現在、国においては、「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」(以下「道路財特法」という)の規定により、地域高規格道路や交付金事業の補助率等の嵩上げを行い、道路整備に対する格別の配慮がなされているが、この措置は、平成29年度までの時限措置となっている。道路財特法による補助率の低減は、地方の財政負担の増加をもたらすこととなり、道路整備の停滞を招き、地方創生の実現に大きな影響を与えることが懸念されるところである。

よって、国会及び政府に対し、今後も地域における道路整備の着実な推進が図られるよう、以下の点について強く要請する。

## 記

1. 道路整備を計画的かつ着実に推進するため、安定的・継続的な予算の確保を図ること。また、補正予算においても早期編成を進めること。
2. 老朽化する道路施設の維持管理及び更新を計画的に進められるよう、必要な予算を安定的・継続的に確保すること。
3. 道路財特法の規定による補助率等の嵩上げ措置については、計画的かつ着実な道路整備を推進するために、平成30年度以降も引き続き継続するとともに、必要な道路整備の推進が図られるよう、地域の財政状況等を十分考慮した措置を講ずること。

## 議会を傍聴してみませんか

毎回、町民の皆さまに議会を傍聴していただき、ありがとうございます。  
次回の定例会の会期は、3月2日(金)から16日(金)までを予定しています。  
一般質問は12日(月)、13日(火)の予定です。詳しい日程は町ホームページでご確認ください。



## 平成29年 第4回定例会 議案賛否表

議案番号	件名	採決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
			向井正	吉田豊	田中静雄	碓勝征	漆原悦子	井上正宣	吉富隆	大川隆城	原田希	寺崎太彦

○は賛成 ×は反対

第4回定例会												
42	平成28年度上峰町一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
43	平成28年度上峰町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
44	平成28年度上峰町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
45	平成28年度上峰町土地取得特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
46	平成28年度上峰町農業集落排水特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
49	専決処分の承認を求めることについて (平成29年度上峰町一般会計補正予算(専決第1号))	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
50	専決処分の承認を求めることについて (平成29年度上峰町農業集落排水特別会計補正予算(専決第1号))	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
51	上峰町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
52	特別職の給与条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
53	議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
54	上峰町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
55	平成29年度上峰町一般会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
56	平成29年度上峰町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
57	平成29年度上峰町農業集落排水特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
58	権利の放棄について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
59	鳥栖地区広域市町村圏組合規約の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
—	道路整備に必要な予算確保に関する意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
—	平成28年度決算特別委員会審査報告について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

\*議長は賛否の意思表示をすることはできません。採決の結果、可否同数のときは議長が裁決権を行使します。(過半数議決の場合)

# 一般質問

## そこが聞きたい

### 敬老祝金に代わる町の施策は

#### 介護予防日常生活支援総合事業の推進を図る



吉田 豊 議員

**問** 町内の独居老人単身世帯や、国民年金のみの老人世帯の生活は非常に生活が苦しい。国民年金40年加入での年金収入はいくらか把握しているか。

**答** 健康福祉課長 40年加入で80万円程度と認識している。

**問** 年金額が80万円程度であるとのことだが、12カ月で割ると月額約6万6千円となる。先日の新聞報道によると、憲法で保障されている最低生活の保障費（生活保護基準）は65歳の高齢者単身世帯で月8万円だが、おかし

**問** 年金制度についてどう思うかとの指摘だが、年金受給額と、生活保護制度の受給額に差があるということについては世間でも問題になっていくことについては、認識をしている。差についてどうかと言われても私個人の感想として今申し上げる立場にはないということをお察しいた

**問** 年金生活者について資料を持ち合わせていないということだが、国民年金のみの単身世帯の生活実態調査くらいはする責務があると思うがどうか。

**答** 健康福祉課長 各高齢者の方の自宅に訪問したり、あるいは個々にお話をさせていただったりとか、そういう機会には常々行っている。

**問** 健康生活者について資料を持ち合わせていないことだが、先ほど私が明らかにしたように、生活保護以下の年金生活者ですよ。この質問を取り上げたのは、民生委員からの相談なんです。町内老人の生活実態について調査をすべきであるのではないか。

**答** 健康福祉課長 民生委員さんあたりから私どもの方でも聞き取りを行いたいと考える。

**問** では年金のみの老人世帯が、どのような生活を強いられるか把握しているか。

**答** 健康福祉課長 29年10月末で30世帯

**問** 実態調査はしていることだが、その結果生活困窮者は何世帯何人くらいか。

**答** 健康福祉課長 生活困窮者といわれる絶対的困窮者あるいは、相対的困窮者

ほかに  
○健康な老人育成対策  
○町道西峰東西・3・4号線  
○上峰町振興対策  
○町執行部体制  
○自主防災組織の組織づくり

## 健康寿命延伸対策は

### 運動の動機づけを推進

**問** 健康寿命延伸には生活習慣病予防が欠かせないが、若年期・中年期に発症することが多いといわれており、目標設定をし取り組むべきでは。

**答** 健康福祉課長 若年層から高齢層に向かうベクトルの中で手当てを考え、10年、それ以上のスパンと認識している。また国でもスマートライフプロジェクトといったものを展開しており、先進事例もいくつかあるので

参考にと考えている。

**問** 町内のスポーツジムとの連携という話もあるが、町民が利用の際の一部助成の考えは。

**答** 健康福祉課長 既存の事業を有用に活用するということが認識し、健診受診者に対し、町内のフィットネスジムなどで利用できるクーポン券を配布し、まずは、運動の動機づけという形で考えている。

## 空き家対策の進捗は

### 新年度4月に第1回協議会

**問** 空家等対策特別措置法の中でも6条・7条で、国の指針に則して空き家等対策の策定を明示されており、空き家対策を進めていく上で協議会は重要だと思いが。

**答** 住民課長 平成29年4月1日に空き家条例を立ち上げたが、規則の改正を含め、協議会構成メンバーの改正を行い、平成30年4月に早速協議会を立ち上げる。

**問** 新年度4月に第1回協議会開催の要請は進んでいるのか。

**答** 住民課長 推薦依頼を出す準備をしている状況だが、了解を求められる体制づくりはできているものと考えており、

新年度に入り4月早々に、第1回目の会議を開きたいと考えている。

**問** 空き家バンクの設置は。

**答** 住民課長 空き家バンクの概要を記載した上で、登録希望の有無に関するアンケート調査を行い、29年11月末時点で58件回収があり、登録、または条件によって登録との回答が21件あり、関心の高さが見てとれる。今後、空き家利用者のリフォーム助成制度も検討し、関係所管課とも協議し、空き家バンク構築に向け進める。

## 英検の検定料補助は

### 平成30年実施に向け進める

**問** 補助対象および形式は。

**答** 教委事務局長 小・中学校の児

童・生徒を対象として、年1回分の補助について実施していきたい。

## 鎮西山の有効活用は

### 3月までに再整備計画

**問** キャンプ場の施設は老朽化が進み、景観的によくないが今後の処遇は。

**答** 創生室長 鎮西山の再整備計画を策

定中で、施設についても活用できるかどうか、3月末までには具体的に取りまとめたいと思っている。



再整備が必要な老朽化した鎮西山内の施設

ほかに ○第2回つばきの森トレイルの概要



向井 正 議員

## 一般質問



大川 隆城 議員

## 町制30周年に 新しい町歌の制定を

上峰の歌として皆が共感し  
歌への思いが大切

**問** 新潟県に「信濃の国」山梨県に「武田節」がありよく歌われている。佐賀県でも平成5年「風はみらい色」平成12年「栄の国から」がふるさとの歌として制作されている。記念すべき町制30周年に郷土のすばらしさを愛着と誇りを感じる新しい町の歌を制定してはどうか。

**答** 総務課長 町制30周年の記念行事も含めて検討委員会でも

協議していくことになると思う。

**答** 町長 来年は年号でもあり、皆様の活性に上げるイベントの必要性を強く感じる。大切なことは上峰の歌として皆様が共感でき、歌に対する思いを持つこと。町内の有為な方の意見も聞き検討していくことになる。

## いじめ、自殺、 指導死防止は万全か

アンケートでより丁寧な、  
カウンセリングの拡充で対  
応している

**問** 近頃いじめによる自殺、教師の厳しい指導による指導死の報道が目につく。保護者からいじめがあるような話を聞くが対応はどうか。

**答** 教委事務局長 児童・生徒へのアンケートで、より丁寧に初期の段階から対応していて、中学校で疑いのある4件のうち1件をいじめと認定し、すぐに生徒や両方の保護者と協議を重ね今は解消している。言葉による暴力で教師が加害者になることは絶対あってはならないことで、職員会議での情報共有、カウンセリングの

拡充により児童・生徒の悩み解決、自殺防止に取り組んでいる。

**要望** いじめはささいなことから発生するので目配り、気配り、それらしい兆候を絶対見逃さないように取り組んでほしい。

## 部下の管理職評価制度導入の考えは

時期尚早で人事評価制度の充  
実を

**問** 県が働き方改革の一環として管理職のマネジメント力向上のため管理職評価制度を導入されている。町もこの制度を導入し相互評価によるマネジメント力向上を図ってはどうか。

**答** 副町長 管理職の評価制度は他市町では聞かずそれより町の人事評価制度が1年経過したばかりで改善の余地があると考え、現行制度の充実を図ることが肝要かと思う。

## 部活の外部指導者導入の 取り組みは

ぜひ取り組みたい

**問** 新年度から外部指導者導入は補助事業（国3分の1、県3分の1、町3分の1）で取り組むようになり国は1校に3名の枠を示しているがどの部が導入予定か。

**答** 教委事務局長 外部指導者導入はぜひ取り組みたい。当初小学校から2〜3名希望があり県と費用負担も含めて調整し教師の異動もあり特定せず1名希望している。



町民体育大会時の吹奏楽部の行進

ほかに  
○国保広域化の進捗状況は

## 勉強できる環境づくりは

責任者および見守る人がい  
れば対応

**問** 子ども議会で質問があったが、子どもたちが勉強しようという意気込みを我々大人は大切にしなければならぬ。教育委員会として、どう対応するのか。

**答** 教委事務局長 教  
育委員会として協  
議し、責任者（見守  
る人）が確保できれ  
ば、対応していく考  
えだ。

**問** 中学校、高等学校  
3年生は受験勉強

の真っただ中。上峰  
町図書館内での環境  
づくりは出来ないか。

**答** 文化課長 図書館  
の閲覧席を持ち込  
み勉強の場として提  
供すると、席取り等  
の問題で公平性や機  
会の均等性が保てな  
い。また、本来の目  
的で閲覧スペースを  
利用したい人の妨げ  
になる。本を読んだ  
り、図書館の本を使っ  
て調べものをしたり  
する場所として有効

に活用してほしい。  
**問** 「こは図書館の  
本を読むための席  
です。学習はご遠慮  
ください。」等の注意  
書きがあり「勉強で  
きる環境になってい  
ない」との声がある。  
子どもたちの意欲を  
我々大人が支援する  
ことが大切と思うが。

**答** 文化課長 「本を  
読むところ」とい  
うことが大前提で閲  
覧室には、そのよう  
な張り紙をしている。  
持ち込み勉強、受験  
勉強とか長時間、そ  
の席を占用する場合  
は、難しいものがあ  
ると思う。学習する  
子どもたちの妨げに  
なるとは基本的には  
思っていない。

## 学校給食無償化の効果と 効果検証の考えは

効果が出ることを期待して  
いる

**問** 町外に給食無償化  
を発信した。まだ  
まだ期間は短いとは  
いえ徐々に効果が出  
ていると思うが。

**答** 教委事務局長 県  
内の複数の市町から  
問い合わせがあり  
上峰町の取り組みは  
すばらしいとの声が

ある。7月以降、小  
中学校で1名の転入  
があったが、今後、  
人口増と学力向上に  
ついて、目に見えた  
効果が出ることを期  
待している。

**問** 効果検証の考えは。

**答** 創生室長 木質に  
限定せず、幅広く

**答** 教委事務局長 転  
入による児童、生  
徒の増、これが指数  
になると思う。また、

## 総合戦略「じゅんとじゅん」 の進行状況は

企業誘致には至っていない

**問** 農業関連企業の誘  
致バイオマスエネ  
ルギー産業の誘致に  
ついて現在の進行状  
況は。

**答** 創生室長 具体的  
には誘致にまでは  
至っていないが、今  
後も情報を収集しな  
がら誘致に取り組ん  
でいきたい。

誘致企業は対象とし  
て取り組んでいる。  
**問** 家畜排せつ物、生  
があると思う。木質  
系となると町内だけ  
では資源不足となり  
広域から集める必要  
がある。資源確保に  
ついて、行政として  
把握しているのか。

**答** 創生室長 県内の  
森林組合の方で、  
まとまった間伐材等  
が供給できるという  
話もあり、情報収集  
しながら誘致に当た  
りたい。



田中 静雄 議員



碓 勝征 議員

## 職員再雇用制度は

### 年金受給開始までの雇用

**問** 職員再雇用制度について、雇用条件・服務規程等は、対象者になる職員は、

**答** 総務課長 退職共済年金の支給開始年齢が段階的に65歳に引き上げへ。60歳定年退職した職員の無収入期間が発生しないよう、雇用と年金の接続制度。25年以上の勤務者で退職後5年以内の再任用希望者。再任用の任期は原則1年間。更新は勤務実績が良好と認められるときは、

1年を超えない期間で更新可とする。対象者は、現在1名。来年3月31日付3名。

**問** 再任用者の勤務形態は、定数との関連は。

**答** 総務課長 フルタイム(一日)希望・短時間(半日)希望かのいずれかを、希望申請し面談等で決定。フルタイム再任用職員は、定数枠に入る。

**要望** 再雇用(任用)される職員は、公務員として十分な経験

をされているので、後輩の指導は勿論、町の行政運営にも貢献すべきである。

## 中央公園広場へ観覧席設置

### 防衛省と協議し、観覧席計画

**問** 町民の声として、中央公園広場に、楽しく愉快にまた健康的に観戦できる観覧席設置の要望があり、設置することで、緊急避難箇所と兼ねて活用できる。

**答** 生涯学習課長 防衛省と協議し、観覧席5段20メートルほどで、1塁側と3塁側に計画を立てていきたい。

町民の声として、中央公園広場に、楽しく愉快にまた健康的に観戦できる観覧席設置の要望があり、設置することで、緊急避難箇所と兼ねて活用できる。

環施設を北側に5段ぐらいの屋根付き観覧席をつよく要望する。

## 施設内の和式トイレの取り扱い

### 庁舎内の一階より洋式トイレへ切り替え

**問** わが町の下水道事業への取り組みは、県内でもいち早く実施され、文化生活が確保され、人口

増につながっている。ほとんどの家庭では、洋式トイレの生活様式にある。公共施設内利用時に不便

をきたしている。利用する町民へのサービスとして、和式より洋式への切り替えは。

**答** 財政課長 町施設内の和洋式合計205基で、洋式化率28%。庁舎一階より、来庁者用として、平成30年度に「和式を洋式」へ全面改修予定。

婦人の家・前牟田学習施設・江迎多目的施設は県補助金に行っていく。

**答** 財政課長 順次継続して計画的に行っていく。

## 東京上峰会再開にアンテナショップを活用したらどうか

### 復活に向けて関係者等の意見希望等を確認調査実施

ほかに  
○中学校体育館・中央公園ミーティングルーム音響効果は

て実施済み。小中学校は平成31年度以降に改修予定。ウォータールンド江迎公園は改修中。

**問** 和式合計147基のうち95基予定されているが、残りの52基屋外分等(公園等)こそが重要箇所である。是非とも計画的に対応を期待する。

**答** 財政課長 順次継続して計画的に行っていく。

## 街路樹はなぜ伐採したか

交通安全と防災事業の両面から

**問** 交通安全上ガードレールを設置してほしいと町民から要望があり、その当時、財政上無理とのこと

で緑の基金を使って植栽された街路樹だったはずだが。

**答** 産業課長 地元より交通安全上見通しがきかない、と伐採の要望があり、また、県営クリーク防災

事業の工事区間に当たり、施工するのに支障があるとのこと。でこの木を伐採した。

## 防災無線は正しく作動しているか

Jアラート全国一斉情報伝達訓練で不具合発覚

**問** 日頃の訓練が防災上大切に正しく作動していることが住

民の安心につながってくる。



井上 正宣 議員

**答** 総務課長 今後はJアラートによる

情報伝達が正常に行われることを定期的に確認するため内閣官房において、毎月1回、第4水曜日、14時に実施する各情報伝達手段の動作確

## 鎮西山の遊具は使用禁止が多すぎる

毎年度専門業者による安全点検をしている

**問** アスレチックは高価な投資をしているし、費用対効果、利用度についても調査すべきではないのか。

**答** 創生室長 今、公園の整備やその後の維持管理についても、多額の費用を要することから、費用対効果については非常に重要であると認識している。地域住民だけでなく、町外

認をすることになっている。

**問** 地区により共鳴して聞きづらいと言われているが。

**答** 総務課長 設置会社であるNTTと協議をしている。



使用禁止が続くアスレチック広場

からも人が呼べるような観光資源としての費用対効果が得られる再整備計画を進めていきたいと考えている。

## 日韓交流について、町長の行政報告が無かったが

一定の成果があった

**問** 韓国から市長、議長、各課長さんが来町され、スケジュールなど議会にはわからなかった点が数多くあり、議会としてもスケジュールがわかっていればお見送りできたけど、3日の文化祭に出席されることはスケジュールになかったが、

また、町長の行政報告にもなにも無いとはどういふことか。

**答** 創生室長 今後は事前に情報提供していきたいと思う。

前々日文化祭が開催されるといふ話を聞かれて、ぜひ、短時間でも参加したいということ、主催者のほうには無理をお願いして、セッティングした。町長の行政報告に驪州市訪問団の受け入れの件が載ってなかったということ、で確かに載せるべきであったと思う。今後は配慮する。

ほかに  
○特産品の開発は



漆原 悦子 議員

## 教育長不在で大丈夫か

力を合わせ情報を共有

**問** 教育長不在はいつまでか。

**答** 教委事務局長 教育長から11月10日付で、再度平成30年3月31日まで自宅療養を要する旨の医師の診断書の提出があつてゐる。

**問** 教育長が約一年休職中だが町長の考えは。

**答** 町長 事故・病気があつた場合は、職務代理者がその職責を果たしていく。また、面会時に復帰したいとご本人の意

見が聞かれたとのことなので、回復を願うことで意向については、教育委員会で聞きとりをされているものだと理解している。

**問** 平成30年度に向けた教職員人事等は。また、教育長会議など発言はできるか。

**答** 職務代理者 教職員人事統括は東部教育事務所で、各市町教育委員会があり、その下に小・中学校がある。平成29年4

月の人事は上峰町の事態をよく理解いただき、学校との間を中継する指導主事も会議に同席、スムーズに行われた。今年はこの時期までと想定してなかったが、先生方の異動に関することは非常に大事な責務を負つている。東部教育事務所の理解のもと小・中学校・指導主事・事務局と力を合わせて情報を共有してやつてゐる。また、会議での発言はできる。

## 道路整備

順次、事業推進を図る

**問** 坊所南北線は補助事業で対応・拡張したいといわれているが工事計画は。また、今年4月に認定こども園の移転で危険箇所になつてゐるがカーブミラー設置はできないか。

**答** 建設課長 坊所南北線は社会資本整備総合交付金事業により整備を実施するため、平成28年度に概略設計を実施し、平成30年度の実施設計費の概算要求を済ませてゐる。来年度、国庫予算の配分状況により順次、事業推進を図つていきたいと考えてゐる。カーブミラーの件は、認定こども園北側の消防小屋の建て替え計

画があり、退いた後は見通しがきくのではと考へてゐる。町の施設であれば設置の必要もあるかと思うが、個人さんが進出されたことで見通しがきかなければ、原因者の方で負担、道路の敷地内でも構わないので、設置をしていただくとなつてゐる。

**問** 通学路の整備・補修はどうなつてゐるか。

**答** 建設課長 毎年8月頃に上峰

町通学路安全推進会議により危険箇所点検パトロールを実施している。学校・保護者および教育委員会などからの情報提供により指摘された箇所や要望箇所は、道路の維持補修工事に合わせて補修を実施している。



設置が待たれるカーブミラー箇所

ほかに

- 高齢者支援について
- 通学福祉バス運行予定は
- 駐車場利用状況は

# 公共施設整備基金の充実を

## 拡充を図る

**問** 公共施設の改修については、町の全体計画に沿って各課で個別の計画を立ててやっていかれるというのだが、急な補修・改修が必要な場合がこれまでもあったし、これからも出て来ると思う。現在の公共施設整備基金の残高は。

**答** 財政課長 平成28年度の決算時点で約2億6千300万円となっている。

**問** ふるさと納税が好調な今、基金の充実をしっかりと図って

いくべきだと思うが。

**答** 財政課長 できるだけ積むようにと、県からの指導は受けている。

**答** 町長 公共施設については、おっしゃる通りに基金が不足しているので、拡充を図るよう指示をしてきた。公共施設整備には、その都度補助金を必要とするので、長寿命化計画の提出が必要。国が面積や数を減らし、

人口減少に備えるという考え方を持っている以上、補助金を

得るためには、町単独で施設を新築するとはなかなか言えない状況と考えている。

**要望** 多くの施設に整備が必要な中、基金の残高については不安が大きい。しっか

り厚みを持たせてもらいたい。また、利用者の声や、道路でいえば地区の皆さんの要望等もあるので、そこを踏まえ進めてもらいたい。

## 中学校グラウンド等の改修は

### 応急措置をしていく

**問** 中学校のユニバーサルデザイン・グラウンドの改修・図書室に独立したエアコンの設置が必要だと考えるが。

**答** 教委事務局長 ユニバーサルデザイン化については、多目的トイレを1カ所整備する。段差については、東側渡り廊下の所を解消していく。

**問** 音楽室・コンピュータ室の入り口の段差解消もお願いしたい。

**答** 教委事務局長 早急に再検討する。

**問** グラウンドの排水不良や、凸凹については。

**答** 教委事務局長 グラウンド改修については、まずテニスコートやグラウンド西側、駐輪場にたまる雨水を側溝にポンプアップする計画。

野球・サッカー等を使う部分の排水不良は承知している。まずは、車でグラウンドをならす仕組があるので応急的な措置をしていく。

**答** 教委事務局長 ご案内の通り、一括管理となっている。夏休み等に図書室だけというのが厳しいので、すぐに検討する。

**問** 図書室の空調が独立しているため、入る際は全部の部屋を空調を入れないといけない。独立したエアコンの設置をお願いしたい。

**答** 図書室の空調が独立しているため、入る際は全部の部屋を空調を入れないといけない。独立したエアコンの設置をお願いしたい。



冠水した中学校テニスコート

原田 希 議員

## 一般質問



# 上峰中学校 子ども議会



平成29年11月10日、上峰町議会本会議場において、中学3年生による「子ども議会」が開催されました。総合学習の一環として、事前にみんなで調査し、討論したことを生徒代表として執行部に対し、提案質問しました。大人が気づかない中学生目線での鋭い質問内容でした。中学生の皆さんには貴重な体験となり子ども議会を終えてそれぞれの感想を書きいただきました。



議長 吉田 航

議長 野村知里

僕は議長としてこの子ども議会に参加させていただくことができず、初めは僕が議長なんか務まるのかという思いがありました。でも実際にやらせていただいても緊張はしたけどいい経験をすることができました。前まで僕は、人前で話したりするのはとても苦手でした。しかし、今回の議長の経験を通して苦手を克服するとともに、上峰町のことを詳しく知ることができました。上峰町の財政・各地区の設備の状況を知ることができました。これからは今回の子ども議会を通して学んだことをこれからの生

活に生かしていきたいと思えます。今回の子ども議会の経験で自分を高める事ができて、自分のふるさと「上峰町」について知ることができてとても嬉しかったです。議長の経験は自分にとって貴重な体験となりました。

議長 野村 知里

私は子ども議会の議長を務めました。議長という初めての経験を通じて感じたことがあります。

それは、議会という場がとても緊張感があつたということです。議会の場に足を踏み入れた瞬間のあのはりつめた空気と、上峰町町長や町の執行部の方々の目のあたりにしたこととても緊張しました。しかし、そんな中で上峰町の交通や施設がどのように変わっているのか、よりよく築かれていくのか知ることができました。私は上峰町が大好きなので上峰町をよくするために行きたいと思えます。

## 子ども議会

私は議会の緊張感の中でしたが無事務めることができました。私にとって議長という経験はとても貴重な経験でした。ですので、この経験を自分の自信に変えて何事にも挑戦していきたいと思えます。

### 上峰町の通学路の安全について



議員 福井愛実 補助員 道山未季

私が担当したテーマは、「通学路について」です。これを選んだ理由は、登下校をしている「危ない」と思ったことがあるからです。議会では、アンケート結果や調査したことなどを発表しました。

リハーサルとは違い、大勢の人がいて緊張したけど頑張れたので良かったです。この議会のおかげで上峰町のことをより知ることができたので良い経験になって良かったと思っています。

補助員 道山 未季

私は今回の子ども議会では、上峰町のいろいろなことを知ることができたり、自分にとってあの大きな場で議会を行うということも貴重な体験をすることができました。答弁をしてくださった方々も私たちの意見に耳をかたむけてくださって本当にうれしかったです。

これからは、更に上峰町のことについて調べていき、子ども議会のことは私の忘れられない3年生の思い出にすることができました。



上峰町内で自由に勉強  
ができる環境について



議員 佐々木 僚 補助員 福井 稜

議員 佐々木 僚  
今回の子ども議会は自分にとってとてもよい経験になりました。元々、自分は人前で話す事が得意ではなかったのですがとても緊張しました。でも、パートナーと一緒に原稿を考え、取材をしに行くうちに、この発表を堂々と言うことは、自分にとって、上峰町にとっても大切なことなんだと思って、本番では自分の満足のいく発表ができました。

しかし、どの町執行部の方達も自分たちの発表に対する答弁を完璧に考えてきており、

再質問をすることができませんでした。でも、高島君はしっかり再質問をして、あとになつて自分もあの事言えたなあと後悔しました。

来年、子ども議会に出る人には、後悔してほしくないし、自分たちの納得のいく発表をして上峰町をより良くしていつてもらいたいです。

補助員 福井 稜  
私は、今回の子ども議会に参加して二つの事を知ることができました。

一つ目は、執行部の方々の質問に対する答えが、すごい細かい所まで調べてくださっていた所です。

二つ目は、実際に議会の様子を知ることが出来ました。

今回の子ども議会は、我々もいつか町のためにか出来ることはなにか、と考えさせられました。より、町の政治について興味を持つきっかけになりました。

上峰町PRについて



議員 宮原 琉威 補助員 伊藤夏末

議員 宮原 琉威  
僕達のテーマは「上峰町PR」についてです。上峰町といえど何かと言われたら僕は何も思いつきませんでした。だから、もっと上峰町の事を知ってもらう為にはどうしたらいいかを一生懸命考えました。発表する事はとても緊張しましたが、とてもいい経験になりました。今思うと、僕が言った事と答弁の内容が少し違ったので、再質問したらよかったです。

補助員 伊藤 夏末  
私は子ども議会で、上峰町のPRについて

提案しました。PRでできるものを調べると「上峰のうた」というお土産があり、企画した方に取材しました。その方は上峰町出身ではないのですが町への熱心な想いが伝わってきました。そして、作った人も贈る人も貰った人も笑顔になるようなお土産を多くの人に知ってもらいたいと思いました。この活動で、私は上峰町について全く知らなかったのですが、PR活動をするだけでなくまず町民が町のことを知るべきだと痛感しました。



議員 中山凌太 補助員 窪山耕介

のらんかいバスの巡回  
経路の拡大について

議員 中山 凌太  
今回子ども議会を通して感じた事は「自分の意見をしっかりと持って、相手に伝える事の大切さ」です。今回は、上峰町をより良くするにはどうしたら良いかについて考え、「のらんかいバスを町外まで延ばす」という事を提案しました。結果は難しいという答えでしたが、自分達の考えをしっかりと提案することができました。なかなかする事のできない貴重な体験だったので、議員として参加することができ良かったです。この経験を今後の生活にうまいかしていきたいと思います。

補助員 窪山 耕介  
僕は、子ども議会に参加することができて本当に良かったと思っています。めったに体験できないことを体験させていただいたし、直接議会に参加して、本物の議会を体験して、本当にいい経験になったと思います。今後、

上峰町をスポーツの町  
にすることについて



議員 高島 直人 補助員 長与浩大

この子ども議会に参加した経験が、いろんなところで生かされてくると思うし、本当に参加できて良かったと思います。本当にありがとうございました。

議員 高島 直人  
子ども議会は、初めてやる事だったので、どんな事をするのか、まったく話を聞いただけでは、想像することもできなかった。授業で国会のしくみについて理解したけど、実際にテーマを決めて、パソコンで調べる時は、どんな事を調べれば良いかわからなくて、困っ

た事もあったが、自分の調べた事について、興味を示すようになって、議員として町執行部に対して、質問する事は緊張したが、初の再質問で自分にとって良い機会だった。

補助員 長与 浩大

私は、議員の補助として参加しました。文化発表会の準備期間中から、子ども議会の準備をしていたのですが、事前に行ったりハーサルで思ったような資料の出し方や、議員の言うタイミングにうまくあわせる事ができなかったりと、本番でうまくできるかとても心配でした。ですが、本番では議員が堂々と発表してくれた事もあり、しっかりと議員を補助する事ができ、とてもよかったです。町執行部の方々には、今回私たちが発表した事を元に上峰町をよりよい町にしていたただきたいです。

新校舎建設について



議員 古川 蒼 補助員 田中悠樹

議員 古川 蒼  
補助員 田中 悠樹

私は、子ども議会で「上峰中学校新校舎建設」について提案しました。このことを提案するにあたって現在使っている校舎の問題点を調べたり、新校舎を建設するために何を取り入れたら良いかという事を調べたりしました。また、調べた事についての原稿をつくるのはとても大変だったし、何度も何度も訂正して書き直しました。ハーサルの時に、演壇に立っただけでも緊張し、本番ではハーサル以上に緊張しまし

たが、自分達の意見をしっかりと発表をすることができたので良かったです。

私はこの子ども議会で貴重な体験をすることができたし、上峰町の事も改めて知ることができました。そして、私達のために来てくださった町長さん、議員さんの方々には、とても感謝しています。ありがとうございました。

プール大幅改修の提案について



議員 川崎千華 補助員 古村 光

議員 川崎 千華

私は子ども議会に参加して、意見を述べることは緊張しましたが議員の人の行動の仕方や公民でなりましたこと

をととてもよく知ることができました。自分たちの調べたことを一般質問してみんなの前で発表し、町執行部の方の返答に対して再質問もするという流れを私はすることができたことが、これからの自分につながると思います。子ども議会に議員として参加したこと、いい経験ができました。

補助員 古村 光

今回、子ども議会に参加させてもらい、とても貴重な体験をすることができました。議会場へ入る事も、議員と一緒に資料を探したり、まとめたりする事も、初めての体験で上手く出来ない事もありました。しかし、議員と共にとても良い案を発表できたと思います。今回の議会を行う事ができたのは、多くの人の支えがあったからだと思えます。私にとって貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。

子ども議会



# 総務厚生常任委員会 研修報告

委員長 漆原悦子

平成29年10月24日から26日までの日程で北海道南幌町、夕張市で視察研修をした。

## 南幌町

○定住促進対策

○子育て施策

○まちづくり対策

①移住体験事業

20歳以上の夫婦とその家族が2カ月以内利用できる。利用者数は平成28年度17組、43名。29年度12組、26名。中部・関東・近畿の60歳以上の利用が多い。

②子育て世代住宅建築費助成

5年以上定住予定の子育て世帯を対象に自宅建築費を最大200万円助成。

③小学6年まで医療費無料

中・高校生も医療費の3分の2を助成。

④子育て支援米を支給（年1回）

○中学生まで↓10kg

○乳幼児 3歳前↓5kg、3歳↓10kg

⑤学校給食の主食代（米、麺、パン）を町費負担

⑥高校生の通学費助成（8月、冬休みを除く10カ月間）最大1万円まで

## 夕張市

○財政再生計画に関する取り組み

夕張市は産炭地域臨時交付金、地

方交付税の減少や不適正な財務会計処理により平成18年財政破綻。平成19年財政再建団体に指定。平成22年法改正により財政再生団体と名称変更。

平成21年度〜平成41年度（実質17年間）の財政再生計画を作成。実質赤字322億円を再生振替特別債借入れで償還としている。

税込8億円↓毎年26億円返済計画。

職員数 平成18年↓300人強

平成27年↓138人（管理職は3人）

就労環境も悪化、給料削減も続いている。

平成29年3月に財政再生計画の抜本的見直しに国が同意。平成38年度（再生振替特別債償還時）までに46項目、113億円の事業を追加、超課税率の市税を改める住民負担の軽減が盛り込まれた。

人口は昭和35年に12万人いたのが平成29年8,648人に激減。その状況の中での皆様のがんばりに期待して研修を終えた。



子育て支援研修風景

# 振興常任委員会 視察研修報告

委員長 大川隆城

平成29年11月20日（月）から22日（水）

## 研修先

沖縄県豊見城市

沖縄県うるま市

沖縄県宜野湾市

今回の研修は沖縄に絞ridoの駅、アンテナショップを豊見城市、バイオマスをうるま市、それに普天間飛行場の視察を実施しました。

## 豊見城市

①道の駅豊崎

那覇空港近くに立地し、観光情報を提供する「情報ステーション」。物販販売コーナー、ウージ（サトウキビ）染め工房等があり、隣接してレンタカーステーションも整備されていた。豊見城市は夏はマンゴー、冬はトマトが多く、「マンゴーの里」宣言をしている。

②瀬長島ウミカジテラス

那覇空港近くの島全体が「エアウェイリゾート豊見城」と位置づけられ、温泉ホテルと42店舗のショップ&レストラン群のウミカジテラスが整備され一大観光拠点として中国、韓国、東南アジアから多くの観光客が訪れている。

## うるま市

○木質燃料ペレット、木質バイオマス利用として樹木伐採分や製材所

廃材、建築廃材（型枠材が主）を粉砕後ペレット状に再生し、燃料ペレットとして火力発電所に供給され、発電燃料の1・5tも削減につながっている。今後年間2万tの生産を目標とされている。

## 宜野湾市

○普天間飛行場

市の密集地の中に位置し面積480・5haのうち92%が民有地。

従来の常駐機71機に加えてオスプレイが10数機配備されている。沖縄防衛局の方の説明ではオスプレイの騒音も天候等で差があり飛行コースにもよるとのこと。米軍人による事件もあるが、ボランティア活動に多くの米軍人および家族の方が参加されていると聞いた。



バイオマス事業研修風景



# がんばれ! 上中 部活動紹介 11

## 美術部

顧問 北崎顕嗣

部長 堤 結女

副部長 藤田真優

私たち美術部は、3年生4名、2年生9名、1年生6名、計19名の部員で、毎日の活動に取り組んできました。

佐賀県中学校美術部展への参加と各種コンクールへの出品が大きな活動です。中学校美術展では、他校の美術部の作品を鑑賞して刺激を受け、自分の作品制作に生かしています。また、「1年間で1回は入賞しよう」を合言葉に、各種コンクールに向けての作品制作に頑張っています。これまで、ネットのポスターで知事賞に輝いたり、学童美術展や博愛美術展などで好成績を収めています。



他にも、体育大会のスローガンや文化発表会のテーマなど、学校行事における看板作成も行っています。

まだまだ、技術的には未熟ですが、見た人に感動を与えるような作品を作れるように、毎日の活動を頑張っていきますので、応援よろしくをお願いします。

## 行事への参加 10月～12月

- 10月1日 上峰小学校体育大会
- 10月8日 町民体育大会
- 10月24日 市町行政講演会
- 10月28日 上峰中学校文化発表会
- 11月1日 韓国コジユ市訪問団歓迎夕食会
- 11月3日 町民文化祭
- 11月5日 町民文化祭カラオケ大会
- 11月19日 かみちゃリグランプリ
- 11月25日 認定こども園かみみね幼稚園お遊戯会
- 11月26日 消防団防火訓練
- 11月28日 青少年育成大会
- 12月17日 おたっしゃ館もちつき交流会
- 12月22日 同和問題市町講座
- 12月23日 町主催福岡ソフトバンクホークス野球教室



▲町木 つばき



▲町花 サルビア

昭和61年2月に町木、町花として制定されました。皆さんに親しんでいただききたいと思います。

あしがき

今年最後の12月第4回定例議会も無事終了致しました。振り返ると、3月の町長選挙に始まり2度の予算否決など多難な年ではありましたが、最終的には皆さんのご理解を得て行政推進ができたものと思っています。

来年度は平成最後の年であり町制施行30年の記念すべき節目の年でもあります。おかげ様でふるさと納税も好調で財源的にも増加しさらに町発展のために一丸となり努力して参りたいと思います。

(大川)

議会だより

広報編集委員会

- 委員長 大川 隆城
- 副委員長 田中 静雄
- 委員 原田 希
- 委員 吉田 正
- 委員 向井